



平成 30 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保 泰三
(コード番号2784 東証一部)
問合せ先 広報 I R 部長 根本 壮一
(TEL:03-5219-5102)

第一三共株式会社および第一三共エスファ株式会社の 長期収載品 41 製品の譲受に関する契約締結のお知らせ

当社の完全子会社であるアルフレッサ ファーマ株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:島田浩一、以下「アルフレッサ ファーマ」といいます。)と第一三共株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:眞鍋淳、以下「第一三共」といいます。)は、第一三共および同社の完全子会社である第一三共エスファ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:義若博人、以下「第一三共エスファ」といいます。)が日本において製造販売している長期収載品 41 製品 92 品目(以下「本譲渡対象製品」といいます。)の製造販売承認および資産等をアルフレッサ ファーマが譲り受けること(以下「本資産譲受」といいます。)について合意し、資産等承継契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本資産譲受の完了後、引き続き安定的に患者さんへ製品をお届けできるよう、両社は協力して製造販売承認の円滑かつ効率的な移管を進めてまいります。

記

1. 本資産譲受の目的

アルフレッサグループは「16-18 中期経営計画 明日への躍進」において、ヘルスケアコンソーシアムの実現に向けた重点方針として、成長事業である医薬品等製造事業における「製品ラインナップの拡充と販売力強化」「事業拡大に向けた生産体制の強化と戦略投資」を掲げております。本資産譲受によって、医薬品等製造事業の規模拡大を図るだけでなく、医療用医薬品等卸売事業などの他事業とのシナジーを発揮することを目的としています。

アルフレッサ ファーマは、第一三共および第一三共エスファより本譲渡対象製品の国内販売権、製造販売承認、在庫、関連契約、商標権、著作権、安全性に係るデータを吸収分割および個別承継によって譲り受けることにより、これまでのように製品の品質維持・安定供給・安全性情報の収集活動に努めるとともに、製品ラインナップの拡充による既存製品とのシナジーを発揮することで医薬品等製造事業の強化を図ってまいります。

第一三共は長年にわたり先進的医薬品の創出を図り、高品質な医薬品を医療現場に届けながら、がん領域への優先的な資源投入を進めております。また第一三共エスファはジェネリック医薬品企業として、超高齢化時代の国民医療に貢献しております。国内における長期収載品について事業最適化を検討するなかで、医療現場への安定供給責任を継続的に果たせるものと判断し、両社の長期収載品事業の一部をアルフレッサ ファーマに譲渡いたします。

2. 本資産譲受の要旨

(1) 日程

資産等承継契約締結	平成 30 年 7 月 31 日
吸収分割契約のクロージング	平成 31 年 3 月 1 日(予定)
吸収分割の効力発生日	平成 31 年 3 月 1 日(予定)

(注1) 上記日程は、進行に応じ必要があるときは両社間協議の上、変更する場合があります。

(注2) 個別承継対象製品の譲受実施日につきましては、別途定める予定です。

(2) 本譲渡対象製品

吸収分割および個別承継によって承継される対象製品は、第一三共および第一三共エスファが日本における製造販売権を有し、製造販売している以下の長期収載品 41 製品 92 品目となります。

No.	製品名	剤形	薬効分類	備考
1	ATP	錠剤	他に分類されない代謝性医薬品	
2	S・M	散剤	健胃消化剤	
3	アクトシン	注射剤	強心剤	
4	アドソルピン	粉末剤	制酸剤	
5	アミサリン	錠剤、注射剤	不整脈用剤	
6	アレルギン	散剤	抗ヒスタミン剤	
7	イスコチン	錠剤、注射剤、粉末剤	抗結核剤	
8	インジゴカルミン	注射剤	機能検査用試薬	
9	カプトリル	カプセル剤、細粒剤、錠剤	血圧降下剤	○
10	ガンマロン	錠剤	その他の循環器官用薬	
11	ギャパロン	錠剤	鎮痙剤	○
12	クロマイ	軟膏剤 膈剤	化膿性疾患用剤 生殖器官用剤(性病予防剤を含む)	
13	クロロマイセチン	液剤 軟膏剤 錠剤、注射剤	耳鼻科用剤、化膿性疾患用剤 化膿性疾患用剤 主としてグラム陽性・陰性、リケッチア、クラミジアに作用するもの	
14	コートロシン	注射剤	脳下垂体ホルモン剤	○
15	シンレスタール	細粒剤、錠剤	高脂血症用剤	
16	セドリーナ	錠剤	抗パーキンソン剤	○
17	セパゾン	散剤、錠剤	催眠鎮静剤、抗不安剤	○

No.	製品名	剤形	薬効分類	備考
18	セフメタゾン	注射剤	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	
19	セレナール	散剤、錠剤	催眠鎮静剤、抗不安剤	
20	ソメリン	細粒剤、錠剤	催眠鎮静剤、抗不安剤	
21	ダイピン	錠剤	鎮痙剤	
22	タリビッド	錠剤	合成抗菌剤	
		液剤	耳鼻科用剤	○
23	ドパゾール	錠剤	抗パーキンソン剤	
24	トロペロン	細粒剤、錠剤、注射剤	精神神経用剤	
25	ドロレブタン	注射剤	全身麻酔剤	
26	ネオイスコチン	錠剤、粉末剤	抗結核剤	
27	ネオドパゾール	配合錠	抗パーキンソン剤	
28	ネルボン	散剤、錠剤	催眠鎮静剤、抗不安剤	
29	ノイエル	カプセル剤、細粒剤	消化性潰瘍用剤	
30	ノルアドリナリン	注射剤	副腎ホルモン剤	
31	ハイアミン	液剤	外皮用殺菌消毒剤	
32	パラアミノ馬尿酸ソーダ	注射剤	機能検査用試薬	
33	バル	注射剤	解毒剤	
34	パントシン	細粒剤、散剤、錠剤、注射剤	ビタミン B 剤(ビタミン B1 剤を除く)	
35	ビタメジン	カプセル剤、散剤、注射剤	混合ビタミン剤(ビタミン A・D 混合製剤を除く)	○
36	ピラマイド	粉末剤	抗結核剤	
37	フェノールスルホンフタレイン	注射剤	機能検査用試薬	
38	ホーリット	散剤、錠剤	精神神経用剤	
39	リパオール	散剤、錠剤	肝臓疾患用剤	
40	亜硝酸アミル	液剤	血管拡張剤・解毒剤	
41	糖液	注射剤	糖類剤	

(注)備考欄の○は個別承継対象製品

(3)本譲渡対象製品の経営成績

本譲渡対象製品の売上高合計は 91 億 58 百万円(平成 30 年 3 月期実績、仕切価ベース)となっております。

(4)本譲渡対象製品における資産の項目

本譲渡対象製品として、本件に関する棚卸資産に加え、国内販売権、製造販売承認、商標権、著作権などの無形固定資産等を予定しております。

(5)譲受価額

本資産譲受の対価は、11,500 百万円(棚卸資産を含む、承継時の棚卸資産金額により調整予定)です。

3. 当事会社の概要

(1)アルフレッサ ファーマ株式会社(平成 30 年 3 月 31 日現在)

①	名 称	アルフレッサ ファーマ株式会社
②	所 在 地	大阪府大阪市中央区石町二丁目 2 番 9 号
③	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 島田浩一
④	事 業 内 容	医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原材料等の製造・輸出入・販売
⑤	資 本 金	1,000 百万円
⑥	設 立 年 月 日	昭和 14 年 12 月 24 日
⑦	純 資 産	22,945 百万円
⑧	総 資 産	36,528 百万円
⑨	大株主および 持 株 比 率	アルフレッサ ホールディングス株式会社 100%

(2) 第一三共株式会社(平成 30 年 3 月 31 日現在)

①	名 称	第一三共株式会社	
②	所 在 地	東京都中央区日本橋本町三丁目 5 番 1 号	
③	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 眞鍋 淳	
④	事 業 内 容	医療用医薬品の研究開発、製造、販売等	
⑤	資 本 金	50,000 百万円	
⑥	設 立 年 月 日	平成 17 年 9 月 28 日	
⑦	純 資 産	1,133,041 百万円	
⑧	総 資 産	1,897,754 百万円	
⑨	大株主および 持 株 比 率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) (8.73%) JP MORGAN CHASE BANK 380055 (8.66%) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) (7.21%) 日本生命保険相互会社 (5.52%) みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受 託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 (2.22%) STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (1.95%) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 5) (1.69%) 第一三共グループ従業員持株会 (1.59%) 株式会社三井住友銀行 (1.53%) 株式会社静岡銀行 (1.45%)	
⑩	当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資本関係	第一三共が保有する当社株式の保有比率 1.47% 当社グループが保有する第一三共株式の保有 比率 0.24%
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	当社と第一三共の間には記載すべき取引関係は ありません。なお、当社の子会社は第一三共製 品の仕入・販売を行っており、平成 30 年 3 月期の 同社製品の売上高は 176,639 百万円です。
		関連当事者へ の該当状況	該当事項はありません。

(3) 第一三共エスファ株式会社(平成 30 年 3 月 31 日現在)

①	名 称	第一三共エスファ株式会社	
②	所 在 地	東京都中央区日本橋本町三丁目 5 番 1 号	
③	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 義若博人	
④	事 業 内 容	医療用医薬品の製造、販売等	
⑤	資 本 金	450 百万円	
⑥	設 立 年 月 日	平成 22 年 4 月 1 日	
⑦	純 資 産	10,030 百万円	
⑧	総 資 産	37,566 百万円	
⑨	大株主および 持 株 比 率	第一三共株式会社 (100%)	
⑩	当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	当社と第一三共エスファの間には記載すべき取引関係はありません。なお、当社の子会社は第一三共エスファ製品の仕入・販売を行っており、平成 30 年 3 月期の同社製品の売上高は 14,632 百万円です。
		関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。

4. 今後の見通し

現時点において、本資産譲受による当社の平成 31 年 3 月期の連結業績への影響は軽微であると予想しております。

以上